

令和3年度 教育研究発表会

5月15日(土)浜田教育センターおよび
5月22日(土)島根県教育センターにて、
教育研究発表会を開催しました。今年度は

ライブ配信による実施となりましたが、たくさんの方に参加していただきました。ありがとうございました。発表や講演への感想、配信の様子をご紹介します。

**講演（浜セ）「前思春期～思春期・子どもの支援の要点
～教育相談と生徒指導のユニバーサルデザイン～」**

講師 特別支援教育ネット代表
宇部フロンティア大学臨床教授 小栗正幸氏

～いただいた感想から～

自分は「情緒的密度」高めの関わりがどちらかという
と得意で、ついやってしまいがちなと思います。
でも、そうではない関わりの方が上手くいく子も教室
にたくさんいるなどというのも実感として感じていま
す。的外しや肯定のフィードバックなど、さまざまな
関わりを、手持ちのスキルとして自分の引き出しの中
にもっともっと増やしていきたいなと思います。(教
育行政関係者)

**講演（島セ）「これからの学校を
組織マネジメントの視点から問い直す」**

講師 九州大学大学院人間環境学研究院
教育学部門教授 元兼正浩氏

～いただいた感想から～

大変興味深く、一つ一つ頷きながらお話を聞か
せていただきました。現任校には、この春から
赴任していますが、勇気を出して「学校経営診
断」に挑戦してみたいと思います。そして、今
の学校の課題を明確化・見える化して、学校経
営ビジョンを明確にして、保護者や地域と一緒
になって一歩ずつ前進していきたいと感じまし
た。(小学校)

◆指導主事共同研究発表の感想から◆

- ・教育センターが演習を通して教職員のプログラミング教育についての意識を高める取り組みをされていて素晴らしいと思いました。理屈だけでなく、やはり演習を通して身に付くものが多く、「やってみよう」という意識がわいてくるのではと思います。(小学校)
- ・マンガの解説を聞き、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントを行うには、教科間、学年間、職員間の関係が良好でないといものはできないと思いました。教職員が児童の資質・能力の向上に向けて同じベクトルで向き合うことが必要ですね。(小学校)
- ・こどもの成長への願いから発想されていることがよくわかりました。パッケージのづくりもとても丁寧だと感じました。たくさんの方の研修に活かされていくといいなあと思います。これまでの研究の積み上げに敬意を表します。(スクールカウンセラー)
- ・コロナ禍の中で中止ではなく、ライブ配信という形で発表会を開催していただき大変ありがとうございました。お陰様でライブ配信でも充実した研修ができました。また自宅でリラックスして参加でき、ライブ配信ならではの良さも感じることができました。(特別支援学校)

◆配信の様子をお見せします◆

リモートによる講演と教育センターからの指導主事共同研究発表とをライブ配信するために、パソコン室に多くの機器をつなぎスタジオを設置し実施しました。所員はリモートによる視聴で参加しました。



カメラの前は
対面発表よりも
緊張します



リモートによる講演の
謝辞もリモートで



画面と時計をみながら
タイミングを計って
進行しました



画面越しに発表と
講演を聞きました